



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 黒田精工

コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒田 浩史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荻窪 康裕

TEL 044-555-3800

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,115	△19.0	90	△81.5	168	△70.6	7	△98.0
24年3月期第2四半期	6,314	18.0	492	90.7	574	66.5	389	39.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △115百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 314百万円 (88.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	0.28	—
24年3月期第2四半期	13.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	17,205	6,451	36.4	223.41
24年3月期	18,086	6,622	35.7	230.10

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 6,270百万円 24年3月期 6,458百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	—	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成24年11月14日)公表いたしました「平成25年3月期配当予想修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	10,400	△11.8	300	△46.3	440	△35.0	220	△24.9	7.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期連結会計期間より、減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	28,100,000 株	24年3月期	28,100,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	31,811 株	24年3月期	31,083 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	28,068,256 株	24年3月期2Q	28,069,457 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務問題の長期化による新興国への経済影響に加えて、中国における反日動向が懸念材料となり以前にもまして景気の先行きが不透明な厳しい状況にあると捉えております。

こうした状況下において、当社グループの経営環境も厳しい状況が続いており、当社グループの主要市場である半導体・液晶市況の悪化に伴う設備投資の減少や、世界経済減速に伴う海外顧客からの受注減少の影響を受けて、受注高5,234百万円（前年同期比188百万円、3.5%減）となりました。売上高に関しては、ボールねじの売上高が受注残に支えられ堅調であった前年同期に比較して大幅に減少した影響により、売上高5,115百万円（前年同期比1,198百万円、19.0%減）の結果となりました。

利益面に関しては、大幅減収のなかコスト抑制等による利益確保に努めたものの、経常利益は168百万円（前年同期比405百万円、70.6%減）、繰延税金資産の回収可能性の見直しによる取崩し額76百万円を加味した四半期純利益は7百万円（前年同期比381百万円、98.0%減）の減益結果となりました。

各セグメントの販売状況は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

#### ○駆動システム

主要顧客である半導体製造装置業界においては、パソコン市場の冷え込み、韓国において第3四半期以降に予定されていた大型半導体設備の延期等により、受注高、売上高ともに減少いたしました。

当セグメントの受注高は1,843百万円（前年同期比329百万円、15.2%減）、売上高2,002百万円（前年同期比818百万円、29.0%減）、営業利益89百万円（前年同期比365百万円、80.3%減）の結果となりました。

#### ○金型システム

車載モーター用金型や携帯用振動モーターコアを中心に受注・売上ともに堅調に推移し、HEVモーターコアに関しても素材価格の引き下げに伴う売価変更はあったものの数量増加によりカバーし、当セグメントの受注高は1,504百万円（前年同期比124百万円、9.0%増）、売上高1,388百万円（前年同期比79百万円、6.1%増）、営業利益23百万円（前年同期は営業損失78百万円）の結果となりました。

#### ○機工・計測システム

受注高に関しては、ツーリング関連の主要顧客である自動車関連業界や、ゲージ関連の主要顧客である海外油井管メーカーからの引合が増加したものの、半導体、液晶パネル需要の冷え込みにより超精密表面形状測定装置（当社商品名：ナノメトロ）の受注が大幅に減少した結果として受注高1,911百万円（前年同期比23百万円、1.2%減）となりました。

売上高に関しても当期業績に寄与する超精密表面形状測定装置の出荷が無かったことに加え、前年度末で終了したエネ革税制の駆け込み需要の反動から工作機械の売上が減少し1,750百万円（前年同期比498百万円、22.2%減）となり、利益面に関しても営業損失11百万円（前年同期は営業利益135百万円）の結果となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は17,205百万円となり、前連結会計年度末と比較し881百万円減少しました。これは主に現金及び預金の減少により流動資産が629百万円と減少したことと、減価償却費の範囲での設備投資により固定資産が252百万円減少したことによるものであります。

一方負債合計は10,754百万円となり、前連結会計年度末と比較し709百万円減少しました。これは主に賞与引当金等の減少による流動負債67百万円の減少と、長期借入金の減少により固定負債が641百万円減少したことによるものです。

また当第2四半期連結会計期間末の純資産は6,451百万円となり、前連結会計年度末と比較し171百万円の減少となりました。これは主に株主資本48百万円の減少、少数株主持分16百万円の増加と、その他有価証券評価差額金の減少によりその他の包括利益累計額が139百万円減少したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に対し673百万円減の2,561百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は243百万円（前年同四半期789百万円の増加）となりました。これは主に、棚卸資産の増加などにより資金が減少した一方、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費などにより資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は194百万円（前年同四半期238百万円の使用）となりました。これは主に製造設備による有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は728百万円（前年同期92百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済と配当金の支払によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主要市場である半導体・液晶市況の悪化に伴う設備投資の減少や、世界経済減速に伴う海外顧客からの受注減少の影響を受けて、受注・売上共に減少いたしました。加えて繰延税金資産の回収可能性の見直しを加味した当期純利益の減少を含め、平成24年5月15日に公表した平成25年3月期の連結業績予想を下方修正いたしました。

詳細につきましては、平成24年11月9日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、平成24年11月5日に公表した「英国Avingtrans Industrial Products Ltdの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」による財務諸表への影響額は精査中であり、今回の業績予想数値には含めておりません。明確になり次第発表いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,260,408	2,587,070
受取手形及び売掛金	2,595,078	2,630,950
商品及び製品	461,598	514,725
仕掛品	962,413	1,091,956
原材料及び貯蔵品	390,272	392,292
その他	654,727	478,503
貸倒引当金	1,754	1,795
流動資産合計	8,322,743	7,693,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,063,492	2,962,615
土地	3,231,169	3,231,169
その他(純額)	1,289,187	1,238,534
有形固定資産合計	7,583,849	7,432,319
無形固定資産		
	114,523	112,523
投資その他の資産		
投資有価証券	1,405,038	1,223,882
その他	661,766	743,988
貸倒引当金	1,140	1,042
投資その他の資産合計	2,065,664	1,966,829
固定資産合計	9,764,037	9,511,671
資産合計	18,086,781	17,205,375
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,898,230	1,943,167
短期借入金	3,081,925	3,056,733
未払法人税等	37,100	41,726
賞与引当金	219,825	179,034
その他	642,224	590,870
流動負債合計	5,879,306	5,811,532
固定負債		
長期借入金	2,105,396	1,505,048
退職給付引当金	1,907,160	1,896,905
役員退職慰労引当金	80,881	90,544
環境対策引当金	93,872	93,872
その他	1,397,320	1,356,310
固定負債合計	5,584,631	4,942,681
負債合計	11,463,937	10,754,213

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875,000	1,875,000
資本剰余金	1,451,395	1,451,395
利益剰余金	1,583,345	1,535,137
自己株式	7,061	7,184
株主資本合計	4,902,679	4,854,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	252,094	108,055
土地再評価差額金	1,413,032	1,413,032
為替換算調整勘定	109,029	104,649
その他の包括利益累計額合計	1,556,097	1,416,439
少数株主持分	164,066	180,374
純資産合計	6,622,843	6,451,162
負債純資産合計	18,086,781	17,205,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,314,460	5,115,983
売上原価	4,655,274	3,897,571
売上総利益	1,659,185	1,218,412
販売費及び一般管理費	1,166,716	1,127,445
営業利益	492,468	90,966
営業外収益		
持分法による投資利益	45,545	36,035
設備賃貸料	34,466	34,503
受取ロイヤリティー	59,806	48,657
助成金収入	23,741	22,822
その他	43,744	33,915
営業外収益合計	207,303	175,933
営業外費用		
支払利息	68,798	63,742
その他	56,491	34,335
営業外費用合計	125,290	98,077
経常利益	574,482	168,822
特別利益		
固定資産売却益	135	—
特別利益合計	135	—
特別損失		
投資有価証券評価損	10,700	—
固定資産除却損	150	1,507
クレーム対策関連費用	20,488	—
特別損失合計	31,339	1,507
税金等調整前四半期純利益	543,278	167,315
法人税、住民税及び事業税	28,916	32,478
法人税等調整額	122,469	110,985
法人税等合計	151,386	143,463
少数株主損益調整前四半期純利益	391,892	23,851
少数株主利益	2,889	15,921
四半期純利益	389,002	7,930

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	391,892	23,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85,759	144,038
繰延ヘッジ損益	△1,208	—
為替換算調整勘定	9,479	4,767
持分法適用会社に対する持分相当額	311	—
その他の包括利益合計	77,177	139,271
四半期包括利益	314,714	115,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310,916	131,728
少数株主に係る四半期包括利益	3,798	16,307

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	543,278	167,315
減価償却費	303,939	294,392
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△772	57
賞与引当金の増減額 (△は減少)	64,782	40,790
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,805	10,255
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△124,139	9,662
受取利息及び受取配当金	△12,726	12,256
支払利息	68,798	63,742
持分法による投資損益 (△は益)	△45,545	36,035
有形固定資産売却損益 (△は益)	△135	—
有形固定資産除却損	150	1,507
投資有価証券評価損益 (△は益)	10,700	—
売上債権の増減額 (△は増加)	351,144	34,768
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△175,082	181,874
仕入債務の増減額 (△は減少)	△49,091	41,826
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	15,203	59,587
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△63,294	4,706
その他	2,155	690
小計	884,558	317,979
利息及び配当金の受取額	12,726	12,256
利息の支払額	△66,969	61,688
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	40,849	25,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	789,466	243,052
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△59,069	334
有形及び無形固定資産の取得による支出	△173,935	189,908
有形及び無形固定資産の売却による収入	195	—
その他	5,648	4,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	238,457	194,597
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△12,565	9,841
長期借入れによる収入	610,000	—
長期借入金の返済による支出	△579,697	615,697
リース債務の返済による支出	△26,219	47,059
自己株式の取得による支出	△21	123
配当金の支払額	84,208	56,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	92,713	728,859
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,887	7,066
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	466,183	673,338
現金及び現金同等物の期首残高	3,289,082	3,234,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,755,265	2,561,626

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,816,026	1,308,977	2,189,456	6,314,460	—	6,314,460
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,509	—	59,887	65,397	65,397	—
計	2,821,536	1,308,977	2,249,343	6,379,857	65,397	6,314,460
セグメント利益又は損失(△)	455,092	78,660	135,104	511,536	19,068	492,468

(注) 1 セグメント利益の調整額 19,068千円は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,997,696	1,388,233	1,730,053	5,115,983	—	5,115,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,950	—	20,373	25,324	25,324	—
計	2,002,647	1,388,233	1,750,426	5,141,307	25,324	5,115,983
セグメント利益又は損失(△)	89,445	23,588	11,427	101,606	10,639	90,966

(注) 1 セグメント利益の調整額 10,639千円は、セグメント間取引消去△6,391千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△4,248千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

当社は、平成24年11月5日開催の臨時取締役会において、Avingtrans Industrial Products Ltd（本社：英国、以下「AIP」）の株式を100%取得して子会社化することを決議し、同日に株式売買契約を締結するとともに、平成24年11月8日に株式を取得いたしました。

### 1. 株式取得の理由

当社は、「精密技術を通じて世界の産業の高度化をサポートする」ことを使命に事業展開をしております。今回欧州を中心に精密ボールねじや工作機械スピンドルを製造販売しているAIPを買収することで、従来日本およびアジアが主体であった当社事業のグローバル展開を加速することといたしました。

AIPは世界的に著名な精密光学機器メーカーであるCarl Zeiss社の精密部品製造部門を源流の一つとする歴史あるメーカーであり、長年に亘り安定的かつ堅実な経営を続けてきました。今般、AIPの親会社であるAvingtrans plcが、同社の他の事業部門に経営資源を集中するために、精密部品部門であるAIPを売却する決定をいたしました。これを受けて当社としてAIPの買収の是非について検討を進めた結果、精密事業を経営の核とする当社にとりましては、AIPを買収することがコア事業の成長に資すると判断し、買収を決定いたしました。

### 2. 株式取得の相手先の名称

Avingtrans plc（英国）

### 3. 買収する会社の概要

商号：Avingtrans Industrial Products Ltd

事業内容：持株会社

資本金：1ポンド

設立年月日：平成19年8月20日

その100%子会社の主要3社の概要

- ① 商号：Jenaer Gewindetechnik GmbH（ドイツ）  
事業内容：ボールねじ・精密ギア等の製造販売会社  
資本金：1,023千ユーロ  
設立年月日：平成4年5月19日
- ② 商号：Jena-Tec Inc（米国）  
事業内容：ボールねじ・直動部品等の製造販売会社  
資本金：60千ドル  
設立年月日：平成13年2月5日
- ③ 商号：Jena Rotary Technology Ltd（英国）  
事業内容：スピンドル等の製造販売会社  
資本金：1千ポンド  
設立年月日：平成4年10月29日

### 4. 株式取得の時期

平成24年11月8日

### 5. 取得する株式数、取得価格及び取得後の持分比率

取得する株式数：1,000株

取得価格：約13億円

取得後の持分比率：100%

### 6. 資金調達方法：銀行借入及び自己資金